

# グリーンエコシティ岩見沢

発行：ごみのよりよい始末を進める市民会議

## はじめに

### 代表委員長より

廃棄されるごみ、リサイクル資源の分別、収集のルールやマナーに対する啓発啓蒙活動を進めて参りました。また、プラ容器やダンボール、紙などの集団資源回収の促進、小型家電等も同様に進め大きな成果を上げて参りました。

今年度は衣類の回収を始めると共に年2回、春と秋に市民の方に再利用して頂く為に「衣類のくるくる市」をごみと環境を考える市民の会の皆様方と開催しております。大変な好評を頂いており、第3回を3月21日にまなみーるにて予定しているところです。この夏に市民会議代表委員の改選が行われますが、引き続き地域に密着した活動を行なって参ります。

ごみのよりよい始末を進める市民会議 代表委員長 春木芳則



▲ごみ・環境総合案内所  
クリーンエコ

## 市民会議の活動紹介

### 環境フェスタ 2018～7月7日(土)

#### 【環境フェスタを顧みて】

「ごみのよりよい始末を進める市民会議」の活動は多数ありますが、「環境フェスタ2018」は天候に恵まれた中、実施することができました。参加団体・企業の皆様には前日の会場・ブースの設営、当日は出店等のご協力を頂きました。また、大勢の市民の皆様がご来場され、賑やかなイベントになりました。

▶環境忍者えこ之助



▶会場の様子



### 【リサイクル自転車抽選販売ほか】

春木代表委員長の挨拶で環境フェスタの開催となり、イベントホール屋外では、エコカー「電気自動車 ネイクル」「水素自動車 ミライ」の展示、昨年も大好評のリサイクル自転車の抽選販売の投票の為に展示などをしました。イベントホールステージでは、えこ之助とのごみ環境クイズ、手品、ファッションショー、ダンボールコンポストによる「生ごみ堆肥化」講座が行われました。ホール中央にはフリーマーケット、両サイドブースには、おもちゃの病院、パネル展示、エコバック作り、ごみ分別クイズ、中学校制服の譲渡コーナー（今年も人気絶賛）などがあり、コンポスト・ダンボールコンポストコーナーでは扱い方等の相談を受け説明させて頂きました。

▶自転車抽選会は大盛況



学生服リユースにおきましては、年々人気が高まりたくさんの方に喜んでいただいております。

今年も各中学校の制服で着なくなったものがございましたら、クリーニングに出した物をクリーンエコまでお持ちください。お待ちしております。

来場アンケート記入のお礼で酪農大アイスクリームの進呈、岩農学生が育てた朝顔の花苗の無料配布。そして、リサイクル自電車抽選会は、特に人気車種では当選した人・外れた人で一喜一憂して大盛況で終了しました。

今回環境フェスタに参加出来なかった市民の皆様方も、次回参加されてはいかがでしょうか。ご家庭でのごみの出し方・減量化・再資源化のヒントになるかと思えます。

▶学生服リユースの様子



▲電気自動車「ネイクルに乗る子どもたち

# 先進地視察研修～11月26日（月）

## 千歳市環境センター

北海道の空の玄関とも言える新千歳空港を擁する千歳市で、ごみ・環境対策について研修を実施しました。新千歳空港は年間2,200万人以上の利用者があり、航空自衛隊基地・駐屯地の所在も良く知られていますが、セイコーエプソンなどの企業が250社以上も活動する工業の街でもあります。

千歳市は、「環境を一人ひとりが見て・感じて・考え、ともに行動するまち ちとせ」を標語として総合的な環境施策を推進しています。



▲センター職員の方から説明を受ける



▲クレーンを操作している様子

## 岩塚製菓(株)千歳工場

今回は食品を製造する工場を研修先に選定しました。現在の食品工場に対する考え方に、大変興味がありました。まず、食品安全方針を定めている、特にISO22000

（国際環境基準）を取得して、食品安全マネジメントシステム・環境マネジメントシステムを構築しているとのこと。また、工場内は綺麗に整頓されていますし、原材料の調達や、製造方法にも特別な考え方をしていました。ただ、ちょっと気になったのは、機械化が少し遅れているのではと思いました。皆さんも、何か機会があれば見学すると面白いのでは。出来立ての〈せんべい〉も食べられますよ！



▲工場職員の方から説明を受ける

# ごみの減量・分別啓発活動

## 岩見沢神社秋季祭典（9月14日～16日）

秋のお祭り会場には多くの露店（飲食店）が軒を連ね、市内外から学生や親子づれが訪れました。また、祭り会場内には数ヶ所のごみ集積所を設置し、その前に代表委員が空きカン、ペットボトル、プラスチック製容器包装など資源ごみを捨てに来た人に分別の徹底を呼び掛けました。

更には祭り会場を巡回し、ごみ減量に係るチラシを入れたポケットティッシュを手渡して、ごみの分別と減量の協力をお願いしました。今後のごみ分別の適正化及びごみの減量化を図るため、2日間の啓発活動を実施し、啓発の必要性を確認しました。



## 衣類のくるくる市

（平成30年3月21日、10月21日）

今回、市民会議とごみと環境を考える市民の会の方との協働で、初めての活動として「衣類のくるくる市」を、平成30年3月21日（まなみーる）と同年10月21日（健康ひろば）にて開催しました。開催に至るまでの準備として、市民の皆様から衣類の持ち込みを促し、受付終了後の仕分けや、開催前日の展示などをしました。そして当日の整頓、来場者の誘導案内や持ち帰る衣類の点数チェック等を行いました。衣類の受付期間は10日前後で持ち込むことができるのは紳士服、婦人服、子供服、市内の中学校の制服です。たくさん過ぎるほどの点数が集まり、こんなにご家庭で眠っているものがあると感じ驚きました。



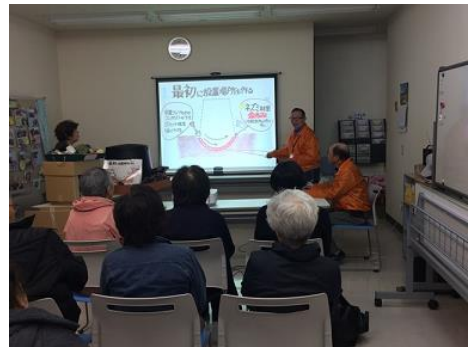
今の時代たくさんの商品が出回る中、まだ着られるものがごみとして出される一方で、もったいないの気持ちを必要としている方がどこかにいるかもしれません。衣類の再利用（リユース）を通じて、そんな双方のお役に立つ事で、ごみの減量につながるのではと思います。開催日には多くの市民の皆さんに参加して頂き、じっくり時間をかけて選んでいる方もいました。1人10点まででしたが、ほとんどの方が10点持ち帰って行きました。リユースのお手伝いをすることで、少しでもごみの減量に関心を持っていただけたらと思います。



# 生ごみ堆肥化

## 生ごみ堆肥化講座

コンポスト・ダンボールコンポストを使用して、生ごみを堆肥化する講座を年に数回開催しています。今年は4月下旬より毎月一回開催したいと考えています。初めての方向けの講習会となっておりますので、参加して基本をマスターして、生ごみ堆肥化に取り組んでみませんか！



## ダンボールコンポスト基材づくり

クリーンエコ等で販売している、ダンボールコンポストの「基材」。もみ殻燻炭とピートモスを一定の割合で混ぜたもので、外に置くコンポストの基材としても同じように使うことができます。この「基材」は、市民会議と市廃棄物対策課の職員とで作ります。

燻炭の細かい粉が舞う中の作業なので、終わった後はみんな顔が真っ黒になります。

## 資料 ～実績～

### 衣類のくるくる市について

第1回

持ち込み（3月6日～16日） 単位：kg

婦人服	紳士服	子ども服	計
637	232	124	1,012

※受付後に除いた19kgを含む

第2回

持ち込み（10月9日～14日） 単位：kg

婦人服	紳士服	子ども服	計
403	118	39	560

3月21日

持ち帰り	1,046枚
来場者数	220人

10月21日

持ち帰り	1,022枚
来場者数	214人

～事務局から～

市では、コンポストの購入に対して、購入額の9割を助成しております。

（※上限 6,600円）

詳しくは市役所廃棄物対策課までお問合せください。

### コンポスト購入に対する助成について

年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度 (12月末まで)
件数	86件	73件	52件

(市廃棄物対策課資料より)

左記の数字が全て新規ではないと思いますが、少しずつでもコンポストを使っている方は増加しているのではと考えております。

# クリーンエコについて

ごみのよりよい始末を進める市民会議の代表委員 35名は地区協より推薦され、「クリーンエコ」を活動拠点に、市の職員の方と一緒に 1日2名が交代で市民の皆様からのごみに関する疑問、相談にお答えしています。

また、クリーンエコでは 16種類（平成30年度より、綿50%以上の古布以外の衣類の受入を始めました）の資源物を受け入れているほか、コンポストをお気軽に始められるよう、ダンボールでできたコンポストのキットと基材を販売しています。



## 資源回収受入品目

- 小型家電
- 蛍光管
- 廃食用油
- びん（無色・茶色・その他の色）
- 缶（アルミ・スチール）
- ペットボトル
- 紙パック
- 生ごみ堆肥
- 乾電池
- 古布・衣類
- 古紙類
- 割りばし
- 生ごみ

### ◎ご利用案内

開所時間：午前 10 時～午後 5 時

開所日：火曜日～日曜日（月・祝休）

問合先：☎31-1153

## ごみの減量について～事務局から～

ごみの有料化から 4 年が過ぎようとしています。有料化前と比較すると、ごみ量は減少しておりますが、僅かながら増加傾向にあります。

ごみの減量に効果的な生ごみの水切りを実践していただくなど、ごみ減量化に向けて皆さまのご協力をお願いいたします。



水切り1回で  
20グラム減量

## 編集後記



「クリーンエコシティ岩見沢」第7号を発行する事が出来ました。今回は、新たな取り組みである「くるくる市」に関する記事を掲載いたしました。発行にご協力いただいた方々に感謝いたします。

事務局：市役所廃棄物対策課 ☎23-4111(内線 214)